

様式 1 1

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	東京建物 Brillia HALL 箕面（箕面市立文化芸能劇場）
指定管理者名	PFI 箕面船場まちづくり株式会社 運営受託企業 株式会社キョードーファクトリー
開催日	令和8年（2026年）1月22日（木）
開催場所	箕面市立市民会館 2階 大会議室2
合議の出席者	箕面市音楽協会 鬼木 一郎 氏 箕面市民オーケストラ 北村 恵美子 氏 民舞胡蝶 山本 琴子 氏 唐木幸子バレエスタジオ 唐木 幸子 氏 唐木幸子バレエスタジオ 唐木 智子 氏 大阪大学日本語日本文化教育センター 加藤 均 氏

【概要】別添のとおり

内容

令和8年（2026年）1月22日（木）に箕面市立市民会館2階大会議室2にて、指定管理者にかかる合議を実施いたしました。その中で合議メンバーより以下のような意見がありました。

1) ご意見

- ・メイプルホールと比べると利用料金が高額であり、無料の催しやリハーサルでは負担が大きい。良い施設であることは理解しているが、経済的な理由から利用をためらう状況がある。特に興行ではない無料の催しでは費用負担が大きい。

（指定管理者による説明）

文化芸能劇場は鉄道開業後、独立採算で運営している。一方、メイプルホールは市からの指定管理料による運営を行っており、利用料金も開業以来据え置かれているため、両施設で料金差が生じている。

なお、劇場の小ホールについては、北摂地域の他施設と比較しても高額ではなく、利用しやすい料金設定としている。メイプルホールと文化芸能劇場では料金体系や役割が異なり、市民利用とのバランスについては課題として認識している。

- ・施設が新しく使い勝手が良く、満足度は高い。デジタルサイネージ等による情報発信があると、市民にとってより分かりやすくなる。

- ・市民会館（グリーンホール）の代わりという感覚でいたが、実際は大都市の芸術文化施設のように感じる。市民が心理的に「敷居が高い」と感じてしまう。

（指定管理者による説明）

レベルを高くすることを意図しているわけではなく、綺麗に維持することを第一に考え、日常的に修繕や清掃を行っている。その結果として敷居が高いと受け取られているのであれば課題であるが、快適な環境づくりは必要であると考えている。

- ・小ホールは建物も新しく使い勝手が良く、不満はない。一方で、利便性が高いにも関わらず稼働率が低い現状があり、市民や地域の方の利用を促進するため、補助制度などの仕組みづくりが必要ではないか。

（指定管理者による説明）

大ホールも市民利用を排除するものではなく、市民料金等の制度は設けている。また、市民団体が主催する公演に対する助成制度も設けている。

- ・助成金制度があると聞いたが、申請書類が多く審査も必要であったため、途中で申請を断念した。

（箕面市からの説明）

助成制度は、市民向け事業のうち、子ども向けの催しや国際交流に資する催し、市民活動の成果発表等を対象としている。公費を支出する制度であることから、目的や根拠の確認に伴い一定の審査が必要となる。手続きの負担が大きいとの声があることは認識しており、今後の課題として受け止めている。

2) 総評

施設の安全性や清潔さ、美観に関する満足度については、アンケートに回答したほぼ全員が「満足」または「おおむね満足」と回答しており、非常に高い満足度が示されている。また、スタッフ対応や催し物など運営面についても同様に高い評価が示されており、施設運営は概ね良好であると認められる。

一方で、料金設定については「見直しが必要」との意見が継続して寄せられていることから、制度の趣旨や施設の役割について利用者への丁寧な説明を行い、理解を得る取り組みが求められる。

以上をふまえ、市として、指定管理者は概ね円滑な管理・運営を行っている
と評価する。